

名称 CDIAAC (Carbon Dioxide Information Analysis Center)

日本語名 二酸化炭素情報分析センター

親機関 ORNL

住所 Oak Ridge National Laboratory, P.O. Box 2008, Oak Ridge, Tennessee 37831-6335

国名 U.S.A.

電話 1-615-547-0390

ファックス 1-615-574-2232

1. タイプ：国際データ・情報センター

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

CDIAAC は米国エネルギー省 (U.S.DOE: Department of Energy) による二酸化炭素研究計画 (CDRP: Carbon Dioxide Research Program) を支援するためにオークリッジ研究所の環境科学部内に設置され、1982年より運営されている。CDIAAC は気候変動を含む大気中 CO_2 濃度の上昇に関する国際研究、意思決定と教育関係、環境問題の評価を支援するための情報を提供する。

CDIAAC はデータ、論文、報告書の収集と評価、デジタル化された数値データパッケージ (NDP: Numerical Data Package) の作成、コンピュータモデルパッケージ (CMP: Computer Model Package)、 CO_2 に関連した報告書とニューズレター "CDIAAC Communications" の作成 (約150カ国に配付されている) を行っている。また年報 "TRENDS'91: A Compendium of Data on Global Change", 語彙集 "Carbon Dioxide and Climate" と、研究概要 "DOE Research Summary" (4 ページのニューズレター) を出版している。

1985年以降CDIAAC のスタッフは18000 件以上の情報請求に応えてきた。スタッフは炭素循環、 CO_2 、メタンと他の稀ガス排出量や他の気候変動に関する問題について一般的、技術的な相談にのっている。

この10年間のCDIAAC の活動は、

- (1) 地球の炭素循環を制御する過程を明らかにすること、将来の大気 CO_2 濃度変化の予測値を提供すること
- (2) 地球の放射バランスの変化が、地球スケールの気候に影響を与えるプロセスのデータ・モデルを開発し気候変動を予測すること
- (3) 植物、作物、生態系に与える気候と CO_2 の複合影響を定義し、予測するに必要なデータとモデルの開発を行うこと

である。

4. データ管理

CMP と NDP は文書とテープ又はフロッピーを含む。文書はデータセットの記述、データの制限と制約を記述する。データの応用、リストとグラフを提供する。磁気テープ、フロッピーは計算機で利用できるデータファイルであり、FORTRAN, SASで読むことができる。また、最新の二酸化炭素研究の報告書 TRENDS'91では表、リストの数値がフロッピーで提供されている。

5. 協力関係

国立環境研究所の地球環境研究センターはCDIAAC のフォーカルポイントとなっている。

6. 参考文献

ORNL/CDIAC, 1991: Catalog of Data Bases and Reports, ORNL/CDIAC-34, 39 p.

ORNL/CDIAC, 1991: Glossary, Carbon Dioxide and Climate, ORNL/CDIAC-39, 59 p.

ORNL/CDIAC, 1992: A Compendium of Data on Global Change, ORNL/CDIAC-46, 665 p.

7. データ提供情報

データ請求先 (巻末にオーダーフォームを添付)

Robert M. Cushman

CDIAC, Deputy Director,

ネットワーク

BITNET: CDP@ORNLSTC

INTERNET: CDP@STC10.CTD.ORNL.GOV

OMNET: CDIAC